

## 議案第 4 4 号

和光市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

和光市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例を次のとおり定める。

和光市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

和光市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例（平成 2 2 年条例第 9 号）

の一部を次のように改正する。

次の表中下線又は太線の表示部分（以下、改正前の欄にあっては「改正部分」と、改正後の欄にあっては「改正後部分」という。）については、次のとおりとする。

- (1) 改正部分及びそれに対応する改正後部分が存在するときは、当該改正部分を当該改正後部分に改める。
- (2) 改正部分のみ存在するときは、当該改正部分を削る。
- (3) 改正後部分のみ存在するときは、当該改正後部分を加える。

改正後	改正前
<p>(定義)</p> <p>第 2 条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 子ども <u>18 歳に達する日以後の最初の 3 月 3 1 日までの間にある者</u>をいう。</p> <p>(2) 対象子ども 市内に住所を有し、国民健康保険法（昭和 3 3 年法律第 1 9 2 号）による被保険者又は規則で定める社会保険各法（以下「社会保険各法」という。）による被扶養者である子どものうち次に掲げる者以外の者をいう。 ア～エ（略）</p> <p>オ 和光市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例（平成 4 年条例第 2 0 号）による医療費の支給対象者</p> <p><u>カ 他の都道府県又は市区町村が実施する制度により子ども、重度心身障害者又はひとり親家庭等に対する医療費の支給を現に受けている者</u></p> <p>(3)～(5)（略）</p> <p>（子ども医療費助成の方法）</p> <p>第 6 条（略）</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、市長は、埼玉県内の医療機関等が対象子どもに対して現物給付を実施する場合には、<u>規則の定めるところにより</u>当該医療機関等の請求に基づき、子ども医療費を当該対象子どもの受給資格者に代わって当該医療機関等に支払うことができる。</p> <p>3（略）</p> <p>（届出の義務）</p> <p>第 8 条 受給資格者は、その資格を喪失したとき又</p>	<p>(定義)</p> <p>第 2 条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 子ども <u>15 歳に達する日以後の最初の 3 月 3 1 日までの間にある者</u>をいう。</p> <p>(2) 対象子ども 市内に住所を有し、国民健康保険法（昭和 3 3 年法律第 1 9 2 号）による被保険者又は規則で定める社会保険各法（以下「社会保険各法」という。）による被扶養者である子どものうち次に掲げる者以外の者をいう。 ア～エ（略）</p> <p>オ 和光市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例（平成 4 年条例第 2 0 号）による医療費の支給対象者<u>（6 歳に達する日以後の最初の 3 月 3 1 日までの間にある者を除く。）</u></p> <p>(3)～(5)（略）</p> <p>（子ども医療費助成の方法）</p> <p>第 6 条（略）</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、市長は、埼玉県内の医療機関等が対象子どもに対して現物給付を実施する場合には、当該医療機関等の請求に基づき、子ども医療費を当該対象子どもの受給資格者に代わって当該医療機関等に支払うことができる。</p> <p>3（略）</p> <p>（届出の義務）</p> <p>第 8 条 受給資格者は、その資格を喪失したとき又</p>

は受給資格の登録事項に変更があつたときは、その旨を速やかに市長に届け出なければならない。

は受給資格の登録事項に変更があつたときは、その旨を速やかに市長に届け出なければならない。

#### 附 則

##### (施行期日)

- 1 この条例は、令和6年10月1日から施行する。

##### (経過措置)

- 2 この条例による改正後の和光市子ども医療費助成に関する条例の規定は、この条例の施行の日以後の診療に要した医療費の助成について適用し、同日前の診療に要した医療費の助成については、なお従前の例による。

令和6年6月6日提出

和光市長 柴崎 光子

#### 提 案 理 由

子ども医療費助成制度における助成対象年齢を15歳の年度末から18歳の年度末に拡充を行うため、地方自治法第96条第1項第1号の規定により、この案を提出するものである。